

鎌田篤司(市政クラブ)

次期市長選挙に向けての決意について

問 就任中の12年間で約100億円の市債残高を減じたことは、金原市長の市政運営で特筆すべき事項である。市長は、景気が低迷し、市税収入も伸び悩みの中で、市民福祉向上のため、費用対効果を考慮しつつ優先順位をつけて市政を運営してきた。選挙の時期も決まったので、次期市長選挙に向けた決意について伺う。



決意を述べる金原市長

答

医師会との訴訟問題、人口減に歯止めをかける人口施策など残された仕事はたくさんあるが、自治体のトップには、ある程度若さも必要であると感じている。選挙に出馬はしないが、任期の最後まで緊張感を持って努めていきたい。

その他の質問

1 市政クラブが市長に提言した東日本大震災への緊急対策6項目について

日恵野佳代(日本共産党)

市民プールの建て直し、再開について

問 市民プールは安く、子どもたちだけでも楽しめる市民にとって当たり前の施設と考える。県下37市中8市に市営プールがないとのことだが、当市と田原市以外は温水プールがある。市は市民プールの建て直し、再開についてどう考えるか。

答

優先順位を考慮し、図書館・体育館を早く直

廃止された市民プール



したいと考えている。

防災・減災のまちづくりについて

問 海抜が低い位置にある公共、福祉、医療等の施設の災害対策はどうか。

答 それぞれの施設の現状を把握し、避難体制や津波・地震対策やマニュアルの見直しの支援、対応に努めたいと考えている。また、電柱に海抜や避難場所の表示ができないか中部電力に聞き、これから調整させていきたい。

牧野泰広(無所属の会)

中部土地画整理事業について

問 現在の進捗状況と事業費の確保はどうか。

答 23年度の予算がおおむね執行できれば事業費ベースでの進捗率は67・5%の予定である。

問 今後は、厳しい財政状況ではあるが、継続した予算確保と効率の良い事業進捗に努めていきたい。

問 事業推進には地権者の理解が必要であり、こちらから補償の順番や時期について何度も分かりやすく説明をすべきと思うが、



早期完成目指して整備の進む中部土地画整理事業

対応はどのようか。

答

地元説明会や戸別訪問の際にスケジュール等を説明している。順番は効率の良い移転を考慮し、時期は補償対象者との交渉があるので順調にいつて何年ぐらい先という説明になると思う。

補償の時期等が分からず、不安に思われている方には戸別訪問で詳細な説明に努めていく。

鈴木貴晶(無所属の会)

水産振興事業について

問 市の漁業後継者育成事業について新規就業者や市のPR方法は。

答 事業開始から今年5月末までの実績は20代4名、30代6名、40代1名で比較的若い方が就業している。PRは広報及び市のホームページで行っている。

問 蒲郡メヒカリブランド化推進事業の現状は。

また、他の市町村の学校給食にメヒカリを提供してはどうか。